

第3学年社会科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
教科書	新しい社会 歴史（東京書籍）、中学社会公民的分野（日本文教出版）
副教材	自主学習（新学社）、ビジュアル公民（東京法令出版）、社会の学習・公民（明治図書）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【歴史】 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>【公民】 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。</p>	<p>【歴史】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</p> <p>【公民】 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</p>	<p>【歴史】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>【公民】 現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
<p>定期テスト、単元テストや小テスト</p> <p>※「知っている・できる」レベルだけでなく、「わかる」レベルの概念的な理解を問う問題</p> <p>パフォーマンス課題やポートフォリオ</p> <p>単元ごとのチェックプリント</p> <p>単純な技能をはかる実技テスト など</p>	<p>定期テスト、単元テストや小テスト</p> <p>※「わかる」レベルの思考を問う問題や、「使える」レベルの思考を意識した記述問題</p> <p>パフォーマンス課題やポートフォリオ</p> <p>単元ごとの調べ学習</p> <p>複数の技能を組み合わせた実技テスト</p> <p>ノート・ポートフォリオなどの記述 など</p>	<p>授業中の活動や発言</p> <p>ノート・レポートなどの記述</p> <p>パフォーマンス課題</p> <p>ポートフォリオ</p> <p>単元ごとのレポート</p> <p style="text-align: right;">など</p>

※発言…言語活動を通して、話題や相手の話をもとに、思考しながら話をしたり、意見を述べたりすること

※パフォーマンス課題…思考のみならず、粘り強く考える意欲や、見方・考え方を働かせて考えようとする知的態度などが試されるような課題

3 学習についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをしっかりと発信しましょう。その際には、資料や今までの学習などの根拠をもとに、理由もふまえながらの発信に心がけましょう。 ・他の人の考えにしっかりと耳を傾けましょう。その際には、自分の考えと比較し、同じところや違うところを考えながら聞きましょう。 ・「問い」の意識をもち、他の人の考えを聞いたり、様々な資料を積極的に使ったりしながら、学習を深めていきましょう。 ・ノートへは、黒板に書かれたことだけではなく、自分の気づきや学習のポイントだと考えるところを積極的に書きましょう。
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞やテレビから、社会で起こっている出来事を知り、授業で学習した内容との関連を見いだすとともに、現在進行的な社会事象への関心を高めましょう。 ・学習した内容に関連する資料を集めたり、調べものをしたりして、追究を深めましょう。 ・ノートやワーク、i プリ等を利用して、予習や復習をする習慣をつけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	<p>(歴) 欧米の進出と日本の開国</p> <p>(歴) 明治維新</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリスを中心とする欧米諸国が、工業製品の市場や原料の供給地を求めてアジアへ進出した過程を理解する。 ・ペリー来航から日米修好通商条約の締結までの過程、不平等な内容について考察し、表現する。 ・開国によって、日本の政治や経済はどのように変化したのかを捉える。 ・開国による政治的及び社会的な影響が、明治維新への動きを生み出したことを捉える。 ・新政府の方針や諸改革の内容、中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。 ・新政府が行った学制・兵制・税制の改革の具体的な内容を理解する。 ・明治維新の三大改革が人々の生活に及ぼした影響について考察し、表現する。 ・新政府が行った富国強兵・殖産興業政策の具体的な内容を理解する。 ・岩倉使節団の目的と帰国後の近代化への影響、明治初期の外交政策について捉える。 ・領土の確定について、近代的な国際関係の下で、新政府が行った外交政策を理解する。 ・竹島、北方領土、尖閣諸島が日本固有の領土になった時期や経緯と、日本政府の見解を理解する。 ・自由民権運動が始まった経緯や、改革への不満から士族の反乱が起きた過程を理解する。 ・議会政治が始まったことの歴史的意義や、現代の政治とのつながりを考察し、表現する。

7 ～ 9	<p>㊦【私たちと現代社会】</p> <p>(公) 私たちが生きる現代社会の特色 (公) 現代社会の文化と私たち (公) 現代社会の見方・考え方 (公) まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることを理解する。・現代社会における文化の意義や影響について理解する。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・私たちと現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
10 ～ 11	<p>㊦【私たちの生活と政治】</p> <p>個人の尊重と日本国憲法</p> <p>(公) 法に基づく政治と日本国憲法 (公) 日本国憲法と基本的人権 (公) 日本の平和主義 (公) まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解する。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解する。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
12	<p>㊦【私たちの生活と政治】</p> <p>国民主権と日本の政治</p> <p>(公) 民主政治と政治参加 (公) 国の政治のしくみ (公) くらしを支える地方自治 (公) まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国会を中心とする日本の政治のしくみのあらましや政党の役割を理解する。 ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解する。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解する。 ・地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に、地方自治の基本的な考え方について理解する。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・国民主権と日本の政治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
	<p>㊦【私たちの生活と経済】</p> <p>(公) 経済のしくみと消費生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などのしくみや働き、勤労の権利と義

<p>12 ～ 1</p>	<p>(公) 生産の場としての企業 (公) 金融のしくみとお金の大切さ</p> <p>(公) 財政と国民の福祉 (公) まとめ</p>	<p>務、労働組合の意義及び労働基準法の内容について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解するとともに、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、表現する。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察・構想し、表現する。 ・私たちの生活と経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
	<p>④【私たちと国際社会】</p> <p>(公) 国家と国際社会 (公) 国際社会の課題と私たちの取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解する。 ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。 ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
<p>1 ～ 2</p>	<p>(公) まとめ</p> <p>④【私たちの課題—持続可能な社会をめざして—】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題に関わる基本的な事項について理解している。 ・諸資料から、持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題の解決に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 ・社会的な見方・考え方を働かせ、私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察・構想し、自分の考えを説明、論述している。 ・私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。